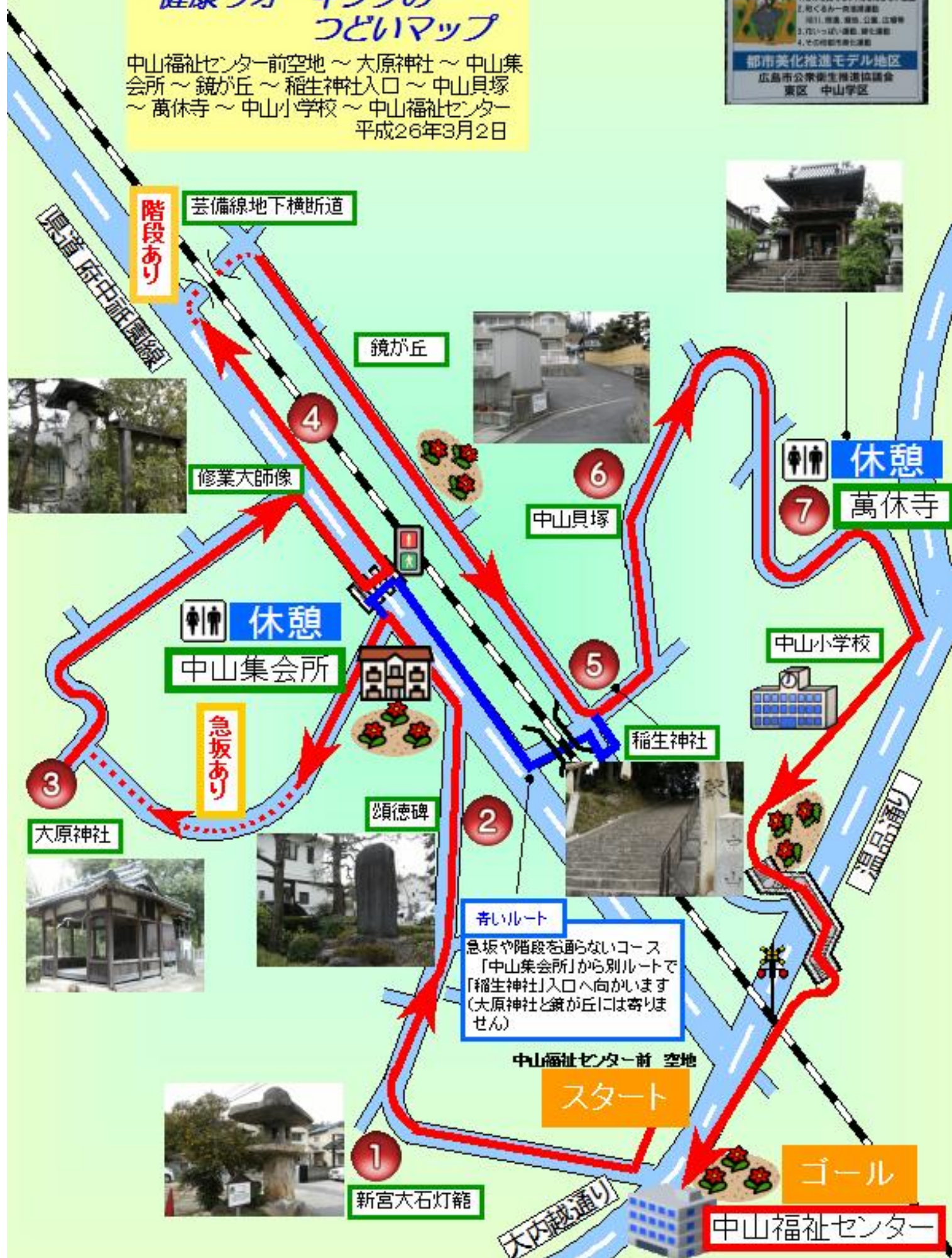


第7回 東区 健康ウォーキングの つどいマップ

中山福祉センター前空地～大原神社～中山集
会所～鏡が丘～稲生神社入口～中山貝塚
～萬休寺～中山小学校～中山福祉センター
平成26年3月2日



第 7 回 東区健康ウォーキングのつどい & 健康展

平成 26 年 3 月 2 日 (日)

① 新宮大石灯籠

以前あった新宮社の参道を物語る灯籠である。新宮社は、明治 43 年(1910 年)に稲生神社に合祀されて現在はない。明治元年を翌年に控えた慶応 3 年(1867 年)に新宮社の参道に建てられ、高さは 3m である。昔は周囲に人家もなく、歩いて大内越峠を通して中山に出入りする者は、いつもこの灯籠を眺めていたと言われている。

② 頌徳碑

公共事業や神社仏閣に多くの貢献をした中山出身の土井四郎氏の善行を後世に伝えるため、昭和 14 年に建てられた。

③ 大原神社

別名を黄幡社(おんばんさん)という。昔の中山は水害がしばしばあり、村を水害から守る神と信じられていた。明治 43 年(1910 年)に稲生神社に合祀されたが、大正 14 年(1925 年)に現在地に分祀された。昭和の終戦直後まで、八朔(旧暦 8 月 1 日)の夏祭りが賑わった。

④ 修業大師像

昭和 6 年、中山村一帯で腸チフスが流行し多くの村人が亡くなった。菩提を弔うため、九州日田の石工が彫った大師像が安置された。

⑤ 稲生神社

中山のほぼ中央に位置する鏡山にあり、地区の鎮守である。創建は明らかではないが、寛政 12 年(1800 年)に再開された。祭神は穀物の守護神である。毎年例祭日の 1 週間には、町内各家を回って身を清め、町全体が清らかな地域となって祭りを迎えるという昔ながらの獅子舞の行事が行われている。

⑥ 中山貝塚

約 2000 年前の縄文時代晩期や弥生時代の生活の名残りである。昭和 33 年に日本考古学協会によって発掘調査が行われ、東西 20m、南北 80m、深さ 1.5m ほどの大きさの貝塚であることがわかった。この辺りは標高 10 m であるが、かつては広島湾がすぐ近くまで入り込んでいて、温品川の河口に近い低湿地であったと推測されている。

⑦ 萬休寺

浄土真宗大谷派(東本願寺)の寺院である。寺号のみの廃寺になっていた萬休寺が、明治 10 年(1877 年)に広島市大手筋から現在地に移った。明治 12 年(1879 年)からは、地区内唯一の寺院として村民によって守られ、信仰を集めている。昭和 20 年(1945 年)の原子爆弾投下の際は、爆風が大内越峠から吹き、本堂や鐘楼門も大きな被害を受けた。

参考資料：なかやま散歩道ガイドブック、なかやまの散歩道ぐるーりとひとまわり、二葉公民館ホームページ

主催 東区公衆衛生推進協議会 ・ 財団法人広島市未来都市創造財団 二葉公民館

東区スポーツセンター ・ 東区厚生部健康長寿課